

実習教員の未来のために ～全国の声を「証拠」として示せ！～

全国学習交流集会では、今、迫りつつある実習教員の危機的状況において、私たちのこれからを考える意見集約をしました。

今まで制度改革運動を進めてきた経緯とこれからの実験・実習教育を推進するために、実習教員の身分確立のためにと、様々な声が寄せられました。各組織において考え方やとらえ方が様々ですが、その声を一つにまとめ、文部科学省をはじめ、法整備を進めていかないといけません。

そしてそのためには「証拠」（エビデンス）を示す必要があります。

実態アンケート

～実習教員の職務実態調査～

まずはあなたがやってきた職務の内容の調査を！ほんとにそれはあなたの仕事？



資料

～「学校と教師の業務の3分類」の指針への位置付け（案）～

え！これってどうなの！！ R7.8.19-教師を取り巻く環境整備特別部会-【資料01 02】



NEWS & 資料

～職務の明確化 だれがやるのその仕事～

国が進める「教諭の仕事」これを皆さんはどう読み解きますか？



コラム

～「実習助手」の職名は全国で異なる～

学習交流集会に参加すると、よくこのような会話が聞こえてきます。

「職名“実習助手”だけど、呼称って、各組織によって違うのはなぜ？」

「たとえば、実習教諭とか実習講師とか教諭（実習担当）とか

・・・私たちにとっていちばんいい職名って、何がいいかなあ？」

「実習教諭とか実習講師とか教諭（実習担当）とか・・・」

職名によって私たちの生活や権利が各県で違っているのです。

私たちの職務を守る職名は何がいいのでしょうか？

